

調査の概要

- 調査実施日 平成27年1月14日（水）
- 調査の目的
  - ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ◇大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性を担保する方策（「評定の範囲」の作成）について検証する。
  - ◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
  - ◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
  - ◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 調査内容
  - 第1学年（国語・数学・英語）第2学年（国語・社会・数学・理科・英語）
  - ※中学校第2学年の社会・理科は自校の指導計画に基づいて問題を選択しています。本市では、社会科ではA問題を4校が、B問題を1校が選択し、理科ではA問題を2校、B問題を3校が選択しました。
  - 学年・教科別得点の平均については、2年生社会と理科は、選択問題全てを合計して算出したものです。正答数分布や学習指導要領の領域等別正答率については共通問題であった国語・数学・英語についてのみ、掲載しています。
- 調査参加者 中学校5校の1年生704人 2年生675人
  - ※教科や出題範囲が限られていることから、大阪府中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部分です。

学年・教科別平均得点

| 第1学年 | 摂津市  | 大阪府  |
|------|------|------|
| 国語   | 60.7 | 63.2 |
| 数学   | 50.0 | 53.7 |
| 英語   | 64.9 | 69.3 |

| 第2学年 | 摂津市  | 大阪府  |
|------|------|------|
| 国語   | 59.7 | 62.9 |
| 社会   | 44.1 | 48.1 |
| 数学   | 44.0 | 49.4 |
| 理科   | 44.1 | 46.8 |
| 英語   | 49.5 | 55.0 |

調査結果の概要

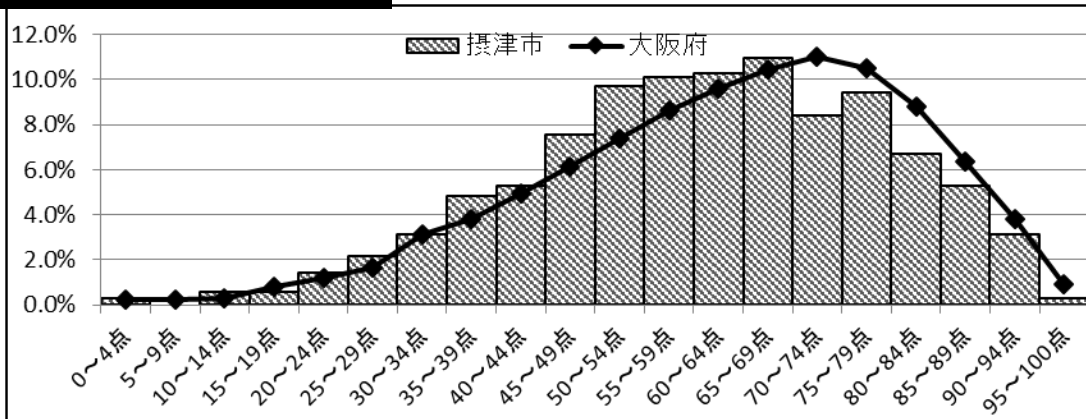
●中学校第1学年・第2学年ともに、すべての教科において府の平均を下回っています。

【国語】  
概ね府全体と同じ傾向ですが、得点の分布の頂点が低い方へ寄った山型です。文脈に即して漢字を正しく読むことについては、府全体の正答率をやや上回りましたが、漢字を正しく書くことや、文脈や場面を理解すること、相手に伝わるように根拠を明確にして話すことや書くことに課題が見られます。

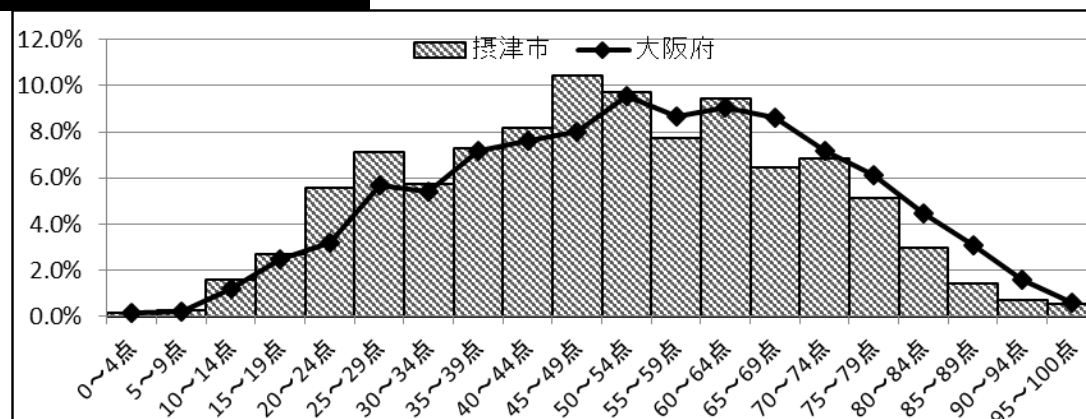
【数学】  
得点分布は頂点が低いところにある山型です。正答率30%未満の生徒の割合は、第1学年で17.4%に対し、第2学年では31.4%と非常に高くなっています。設問別に見ると、「数学的な見方や考え方」や記述式の問題形式の得点率が低く、無回答率も高い状況です。

【英語】  
第1学年では、府全体の得点のピークが95点から100点であったのに対し、本市では正答率70%以上の生徒が少なく、第2学年では得点分布の頂点が低い方に偏りがあり、正答率70%以上の生徒の割合も府全体との差があります。「書くこと」の領域、「外国語表現の能力」の観点及び記述式の問題について得点率が低く、無回答率も高い状況です。

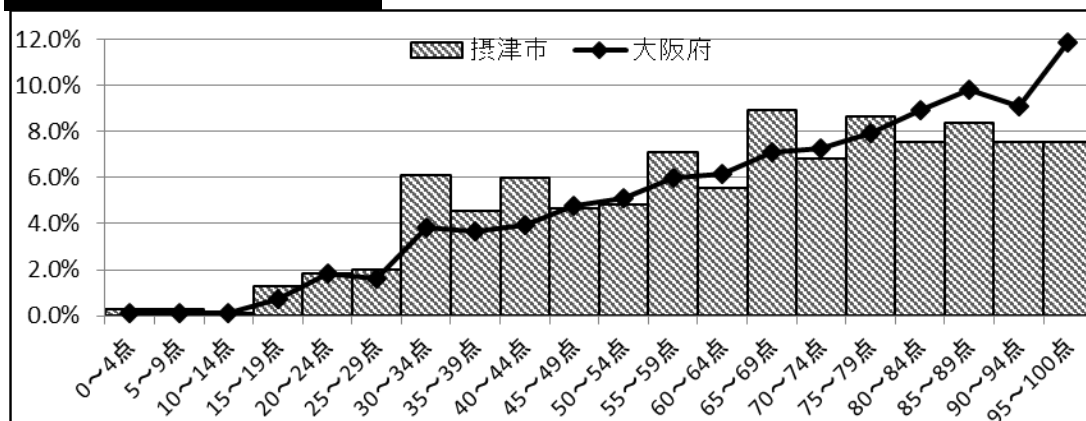
中学校1年【国語】正答数分布



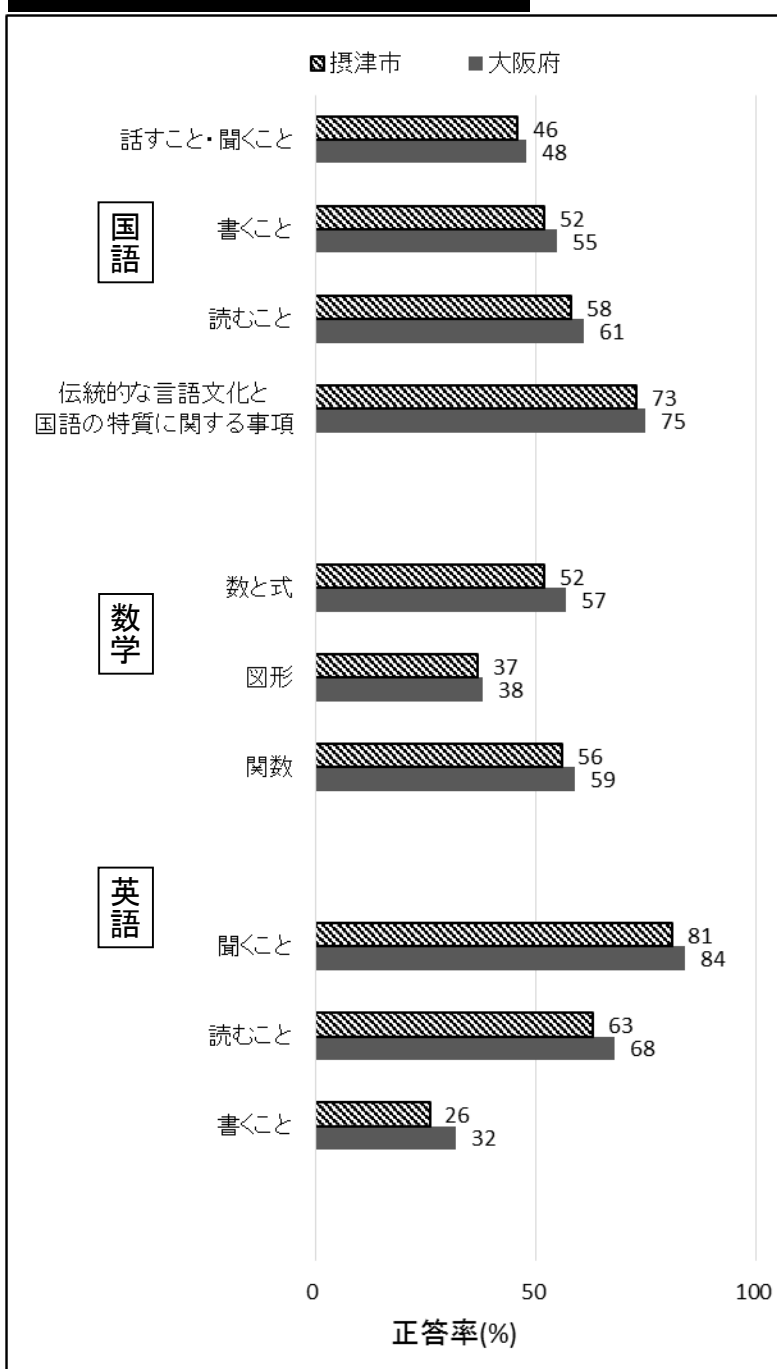
中学校1年【数学】正答数分布



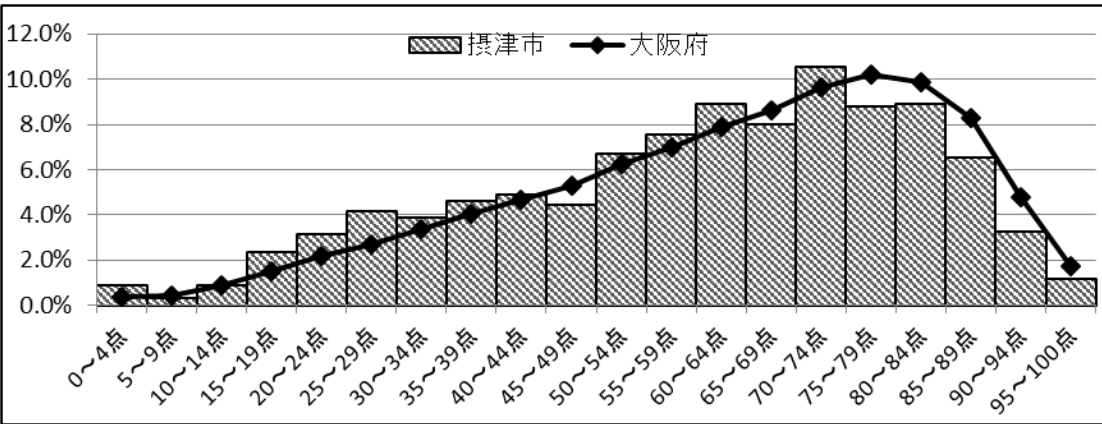
中学校1年【英語】正答数分布



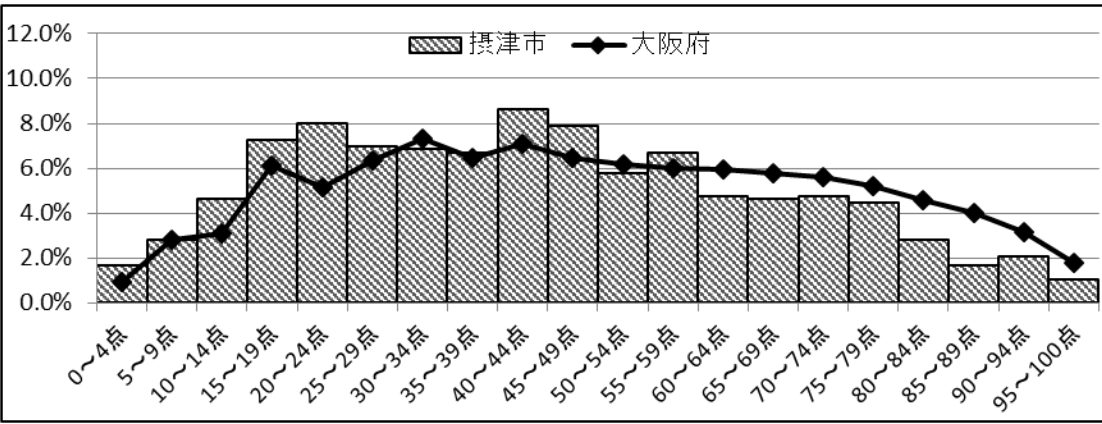
中学校1年 学習指導要領の領域等別正答率



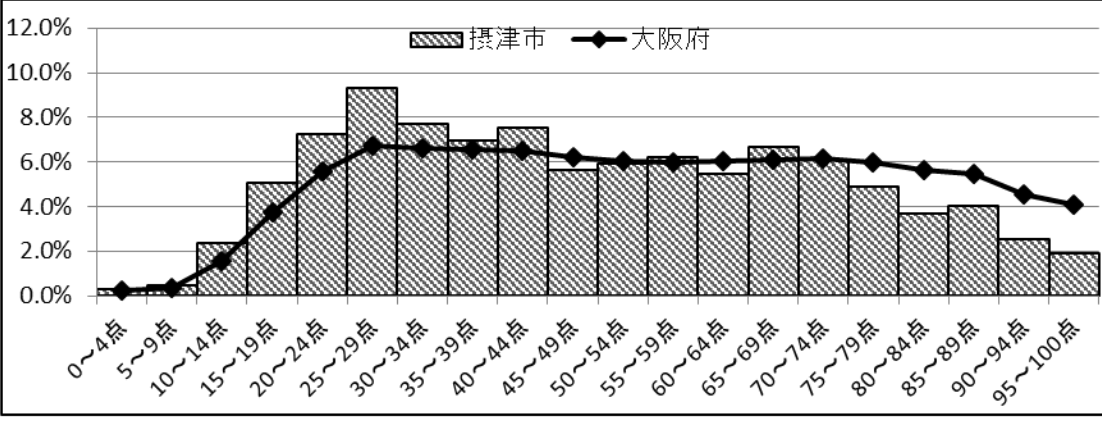
中学校2年【国語】正答数分布



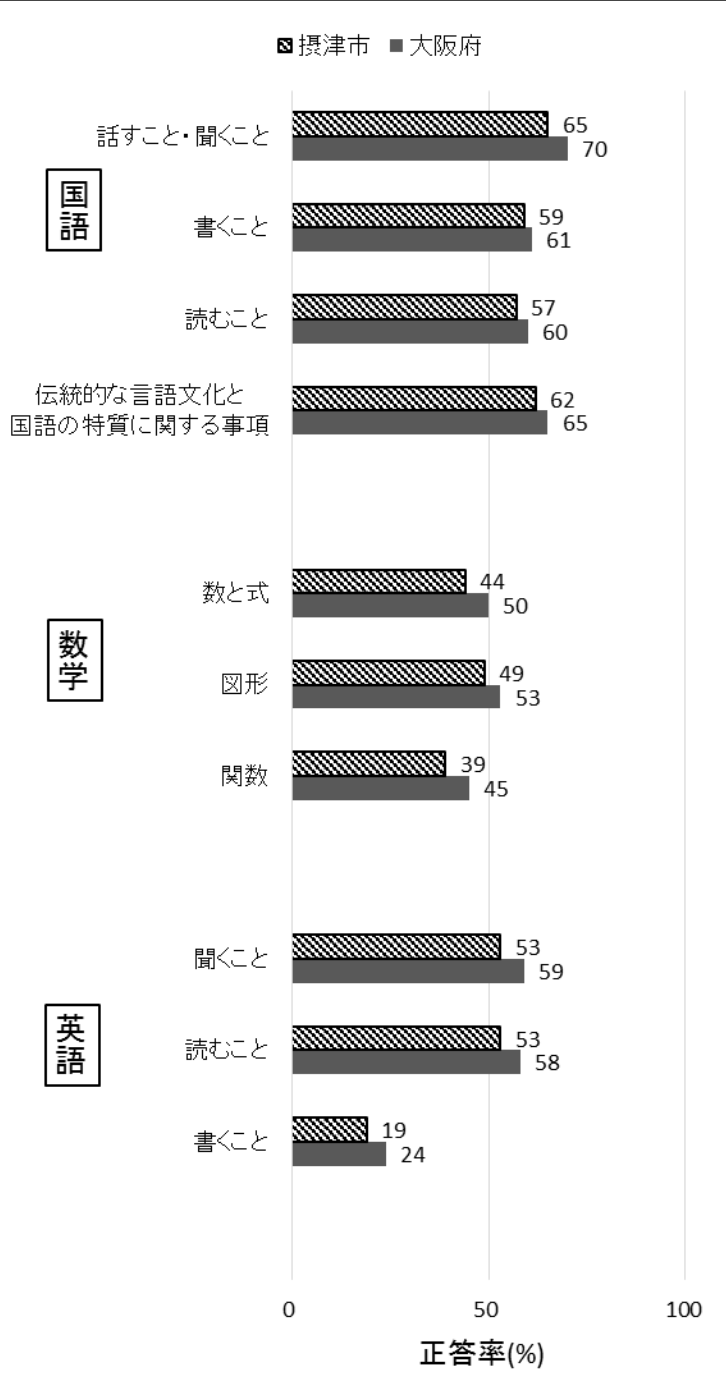
中学校2年【数学】正答数分布



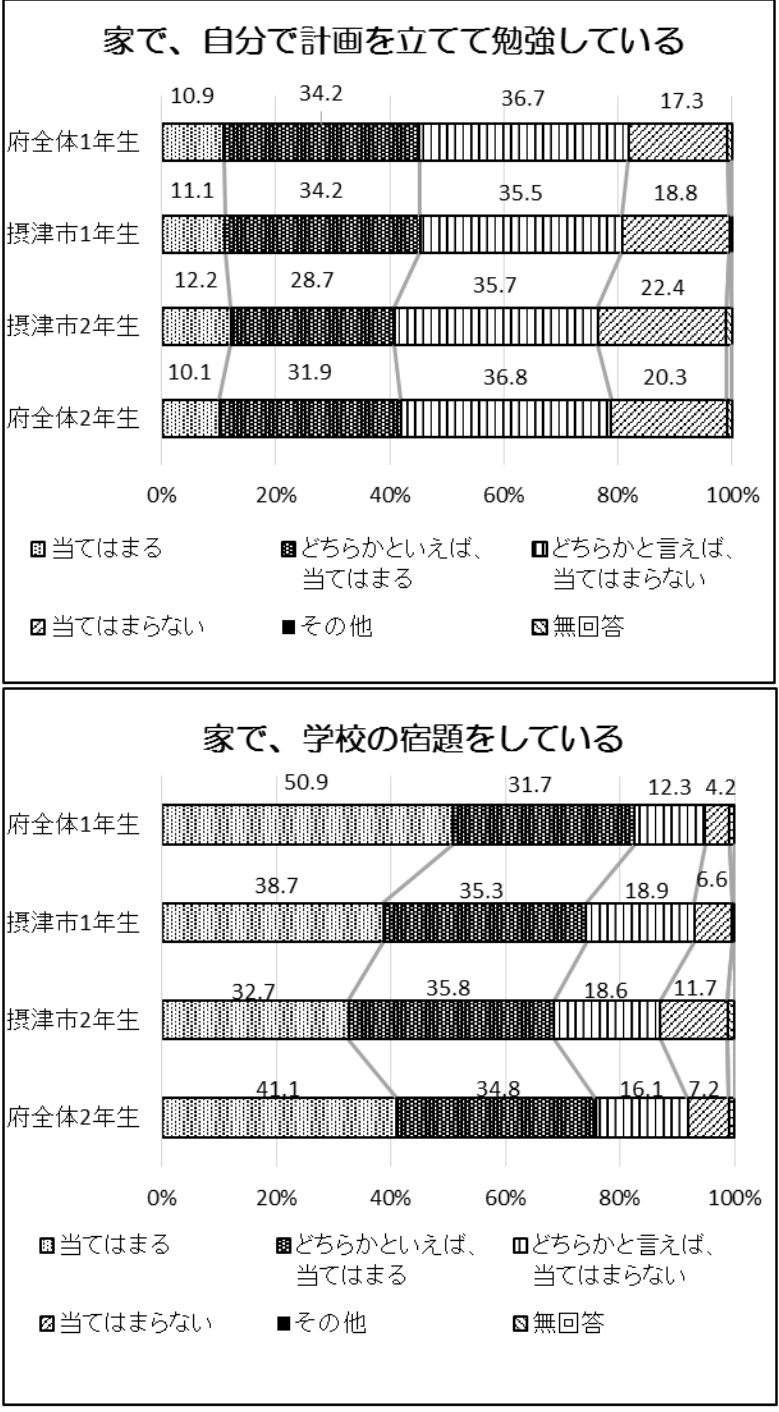
中学校2年【英語】正答数分布



中学校2年 学習指導要領の領域等別正答率



生徒アンケート結果より



今後に向けて

調査結果については、本調査の目的を達成するため、各学校においても調査結果の分析をもとに学校全体の学力向上の取り組みの効果検証を行い、課題の共有を図るとともに、組織的な取り組みを推進し、指導の改善につなげてまいります。

教育委員会としまして、①基礎・基本の徹底、②活用力を育む授業改善、③授業規律の確立、④家庭学習習慣の定着の観点を中心に、今後とも各学校の取り組みを支援してまいります。また、今年度の新規事業である「学力向上推進事業」により、摂津市学力向上推進懇談会を開催し、本市の児童生徒の学力に関する課題や市教育委員会と小中学校のこれまでの学力向上の取り組みを検証し、効果的な学力向上策について幅広く意見を聴取、検討してまいります。

生徒のみなさんが自分自身の学習到達状況を知ることも本調査の目的です。学校、家庭での学習をふり返り、目標を持って学習に取り組みましょう。

学力の定着においては、家庭での望ましい生活習慣の確立とともに、家庭学習習慣を確立することが必要です。今後も、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。